

平成26年 8 月 4 日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
(コード番号：4572)
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 相川 法男
(TEL：078-302-7075)

TNIKキナーゼを標的とした大腸がん治療薬の開発テーマが、医薬基盤研究所の
創薬総合支援事業「創薬ブースター」のテーマに採択されました

独立行政法人 国立がん研究センター（東京都中央区、理事長：堀田 知光、以下「国立がん研究センター」という）は、TNIKキナーゼを標的とした大腸がん治療薬の開発（以下「本研究課題」という）が、独立行政法人医薬基盤研究所（大阪府茨木市、理事長：米田 悦啓、以下「医薬基盤研究所」という）の創薬総合支援事業「創薬ブースター」の支援課題に採択されたことについて、本日付で公表しましたので、お知らせいたします。

記

1. 本研究課題について

研究課題名：TNIKキナーゼを標的とした大腸がん治療薬の開発

主任研究者：山田 哲司（国立がん研究センター研究所 創薬臨床研究分野長）

2. 本研究課題の支援課題への採択の背景と内容

当社と国立がん研究センターは、平成20（2008）年6月に大腸がんの治療薬となるキナーゼ阻害薬の開発に関する共同研究契約を締結して以来、日本発の画期的な大腸がんに対する新規分子標的治療薬の開発を目指して、医薬基盤研究所研究振興部が実施する先駆的医薬品・医療機器開発発掘支援事業の支援を受け、共同で研究開発を進めてまいりました。その結果、担癌動物モデルにおいて非常に優れた抗腫瘍効果を示す新規化合物（以下「本TNIK阻害薬」という）を見出しております。今回、本TNIK阻害薬を、日本発の画期的な大腸がんに対する分子標的治療薬としていち早く臨床試験に進めることを目的として、国立がん研究センターの本研究課題が、創薬総合支援事業「創薬ブースター」（注）の支援課題として採択されたものです。

本研究課題のテーマ採択により、本TNIK阻害薬の非臨床試験が、国立がん研究センターと医薬基盤研究所の共同で実施されることとなったことから、迅速な臨床開発へつながることが見込まれ、本研究成果をいち早くがん患者さんにお届けできるものと期待しております。

3. 今後の業績に与える影響について

本研究課題が創薬ブースターの支援課題として採択されたことによる、当社グループの平成26年12月期連結業績に与える影響は計算中であり、当社グループの連結業績に大きく影響を与える場合は、速やかに開示してまいります。

4. その他

本件に係る国立がん研究センターによる公表については、下記アドレスをご参照ください。

<http://www.ncc.go.jp/jp/about/rinri/chizai/torikumi.html>

以上

(注) 創薬総合支援事業「創薬ブースター」について

国内の大学や公的研究機関等で生み出された研究成果の実用化を加速化することを目的として、これらの研究成果のうち、独立行政法人医薬基盤研究所創薬支援戦略室が医薬品としての実用化の可能性が高いと判断した創薬シーズに対し、創薬のための研究戦略の策定、技術支援、知財管理の実施、企業導出に関する助言など、実用化を目指したシームレスな支援を行う事業のことをいいます。

詳細は、医薬基盤研究所のWEBサイト (<http://www.nibio.go.jp/id3/booster.pdf>) をご参照ください。